

# 境域整備事業竣工



平成8年9月22日の被害

しかし、幸いなことにこの神社境域が青梅市史跡に指定されていたため、厳しい財政の中、市の補助事業として認められた。そして、設計建築も文化財を多く手がけた白井裕泰空間文化研究所、幸信工務店、本田工業にゆだねたことも好材料の結果につながり、今まで以上の素晴らしい建物に蘇った。



平成9年秋 本殿、瑞垣竣工



平成11年秋 大口真神社神門玉垣竣工

皇御孫命社の神門、灯籠、狛犬は知らなければ、江戸末期のものとは見えない仕上がりで、現代の修復技術の高さを改めて知らされた。

また、大口真神社の前に、昨年暮れ講中七名の有志により奉納になった神前灯籠一对は、見事な唐門によく調和して、この事業に花を添えるかたちとなった。



奉納の灯籠

昨秋の大口真神社神門、玉垣の完成で、三ヶ年にわたる整備事業は全て終了した。神社の歴史の中では、過去にも度々台風などの被害を経験している。先人たちもその都度苦勞して修復に当たったであろう。今回も、樹齢四百年近い大杉が倒れたことにより、本殿はじめ甚大な被害を蒙った。

## 石段の奉納

(主幹宮司 須崎 裕)



四年前に、初めて石段改修のご奉納を広報にてお願い致しました。お蔭をもちまして、これまでに三ヶ所のご奉納があり、昨年十月には、戸田市新曾内講・講元細井泰弘様以下講員の皆様方のご篤志により、大鳥居上に五段の石段が奉納され、これを記念して、大前に太々神樂が奏上されました。今後、石段整備事業として皆様方の暖かいご協賛をよろしくお願い申し上げます。

## 「神楽と

### 雅楽の一般公開

平成五年の西年式年大祭に、新築した神楽殿で公開されてより、恒例となった行事である。今年六月十八日(日)と九月十五日(敬老の日)、午前十一時より約一時間にわたって、それぞれ一般に無料公開される。



## 奉納剣道大会

桜が咲き、御岳に遅い春の訪れを迎える4月29日に、中里介山の小説『大菩薩峠』ゆかりの奉納剣道大会が、今年も大鳥居前広場で行われる。この大会も今年54回を数え、50組250名を越す剣士が御岳山に集まり、午前9時よりその腕を競い合う。



## 五月八日 日の出祭

山伏たちの修行の為の入峰の儀式がその発祥とされ、中世より続く神社で最も大切な祭礼で、古くは旧暦二月八日日の出とともに行われたのでこの祭名となった。

現在は、午前九時三十分御岳平を出発する行列は、神輿を中心に鎧武者の威風堂々たる護衛の下、雅楽の調べとともに約一時間かけて神社まで進む。そして徳川綱吉公奉納の神輿に御霊代をお移しし社殿を三周する。その行列に加わることを供奉といいい大褒御利益があるといわれている。

